

## 1996年度総会および研究大会のお知らせ

今年度の総会および研究大会が、下記のように開催されることになりましたので、ご案内申し上げます。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

- (1) 日 時 9月14日(土) 総 会 13時-13時30分  
研究大会 13時30分-16時  
懇親茶話会 16時30分-17時30分
- (2) 場 所 東京日仏会館 501会議室(5階)  
渋谷区恵比寿3-9-25 (JR恵比寿駅下車、徒歩8分  
恵比寿ガーデンプレイスわき)
- (3) 研究大会 テーマ「レヴィナス再検討 — 存在・倫理・正義」  
司会者 西谷 修氏  
報告者 「倫理的言語について」 合田正人氏  
「善さと正しさをめぐって」 齊藤慶典氏  
「存在と倫理の可能性について」 港道 隆氏
- (4) 懇親茶話会 日仏会館2階 レストラン レスパス にて 会費二千元(当日受付)
- (5) 同封の葉書で、出欠を8月末日までにお知らせください。  
郵便振替用紙を同封します。会費(二千元)を納入してください。長期滞納者は名簿から整理させていただきます。  
住所、所属、その他の変更がありましたら、そのつど事務局へお知らせください。

## 雑誌創刊のお知らせ

日仏哲学会の機関誌『フランス哲学・思想研究』の創刊号がいよいよ九月に発行されます。研究大会のときに頒布できる予定です。引き続き第2号の原稿も募集いたしますので、ふるってご応募ください。

## 新入会員

望月博子、名須川学、浅野俊哉、檜垣立哉、太田学、持田辰郎、古田知章、藤原武、柳町茂一、江川隆男、広瀬浩司、柳和徳

## 1996年度総会および研究大会の報告

今年度の総会および研究大会は、去る9月14日東京日仏会館会議室501で開催され、多数の参加者があり、盛会でした。終了後二階のレストラン「レスパス」で懇親茶話会がおこなわれました。

## 〈研究大会〉 テーマ「レヴィナス再検討 — 存在・倫理・正義」

司会者 西谷 修氏  
 報告者 「倫理的言語について」 合田正人氏  
 「善さと正しさをめぐって」 齊藤慶典氏  
 「存在と倫理の可能性について」 港道 隆氏

## 〈会計報告〉

下記の1995年度決算報告および1996年度予算案が総会で承認されました。

1995年度決算		1996年度予算	
〔収入〕		〔収入〕	
会員会費	462,000 円	会員会費	360,000 円
雑収入	5,000 円	雑収入	20,000 円
前年度繰越金	1,605,785 円	前年度繰越金	1,874,261 円
計	2,072,785 円	計	2,254,261 円
〔支出〕		〔支出〕	
大会費	41,249 円	大会費	50,000 円
事務局費	26,979 円	事務局費	30,000 円
通信費	118,916 円	通信費	120,000 円
印刷費	11,360 円	印刷費	15,000 円
次年度繰越金	1,874,281 円	機関紙発行費	450,000 円
計	2,072,785 円	次年度繰越金	1,589,261 円
		計	2,254,261 円

## 雑誌創刊のお知らせ

日仏哲学会の機関誌『フランス哲学・思想研究』の創刊号が九月に発行されました。会員には一部頒布いたします。なお一部頒価千円ですので、さらにご希望の方は下記の編集所宛にお申込みください。引き続き第2号の原稿を募集いたします。応募規定にしたがって奮ってご応募ください。

## 論文応募規定

- 1) テーマ：フランスの哲学、思想に関するもの。
- 2) 応募資格：日仏哲学会会員。
- 3) 原稿の形式：ワープロによる完全原稿。33字×27行の横書きで、注も含めて12,000字。仏文レジュメ（タイトルも含む）33字×13行（本文とは別のページにする）。以上をA4判でプリントアウトしたものを3部送る。原稿は返却しない。
- 4) 原稿作成上の注意：独・仏語のウムラウト、アクサンや、専門語に使用される特別な外字などには、ハードコピー上で、赤字で囲むこと。欧文のハイフンは本来あるものだけにし、改行による分綴ハイフンは入れないこと。
- 5) 原稿締切り：1997年1月31日。送付先：〒108 東京都港区白金台1-2-37明治学院大学文学部 宇波研究室内 『フランス哲学・思想研究』編集所
- 6) 審査の結果、掲載が決定した原稿の執筆者は、原稿のフロッピー・ディスクを送る。マッキントッシュ以外の機種はMS-DOS化し、その機種を明記すること。

## 第26回フランス語哲学会連合国際学会の報告

上記学会が8月30日-9月3日パリ大学ソルボンヌ校で、L'esprit cartésienをテーマに開催され、50か国、700人の参加者があり、250をこえる一般研究発表がおこなわれました。日本人発表者も7人おりました。総会で新たに6哲学会の加入が認められ、加盟学会は50に達しました。次回学会は1998年カナダのケベックで開催されることになりました。新会長にJean Ferrari氏が選任されました。

## 1997年春のシンポジウムのお知らせ

日仏哲学会の春のシンポジウムを下記のように開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ「ミシェル・アンリ哲学の再検討 —その自我論を中心に—」

司会者 松永澄夫氏

提題者 「賢と内在 —ミシェル・アンリの主観性概念について」 鈴木 泉氏

「自我の内<sup>エゴ</sup>外<sup>ソシエテ</sup> —ミシェル・アンリは変わったか」 中 敬夫氏

「ミシェル・アンリのデカルト解釈について —その哲学史的<sup>フィロソフィカル</sup>位置づけ」 望月太郎氏

日 時 4月2日(火) 午後2時-4時30分

場 所 東京日仏会館 5階 会議室501号室

東京都渋谷区恵比寿3-9-25 (JR山手線恵比寿駅下車徒歩8分 ガーデンプレイスわき)

## 第27回フランス語哲学会連合国際学会の予告

本学会が加入しているAssociation des Sociétés de Philosophie de Langue Française の第27回国際学会についての第一報が届きましたので、お知らせします。

Dates du congrès: 18 au 22 août 1998

Lieu: Faculté de Philosophie, Université Laval

Québec (Québec) G1K 7P4 Canada Tél. (418) 656-2244 Fax. (418) 656-7267

Thème: La métaphysique: son histoire, sa critique, ses enjeux

Sections prévues 1) Hénologie et ontologie

2) La constitution de l'objet de la métaphysique

3) La métaphysique et sa critique

4) Philosophie et fin de la métaphysique

5) Perspective contemporaines

◎《La Recherche philosophique en France — Bilan et Perspectives —》について

フランス文部省発行の上記の本が当学会に一部寄贈され、またその編者の一人Pierre Magnard教授が来日された折に、これについて説明されました。これは文部省に委託された委員会がフランス全国の高等教育機関を対象におこなった調査に基づいてまとめた、哲学教育・研究の現状についての報告書です。内容は I. Secteurs de la recherche philosophique. II. Nomenclatures des écoles doctorales, DEA et équipes de recherche. から成ります。当学会でまとめて取り寄せるつもりですので、希望者は事務局久米博までお申し出ください。

◎Collège International de Philosophieの機関誌 *Rue Descartes* がPUF から出版されるので、定期購読を勧めて欲しい、という手紙が F. Jullien 会長から参りました。申込み宛先は 1, rue Descartes 75005 Paris



## 1997年度総会および研究大会の報告

今年度の総会および研究大会は、去る9月13日東京日仏会館会議室501で開催されました。終了後二階のレストラン「レスパス」で懇親茶話会がおこなわれました。

### 〈研究大会〉テーマ「現代フランスの女性思想」

司会者 高橋哲哉氏

報告者 「シモーヌ・ド・ボーヴォワールからクリスティーヌ・デルフィへ」 井上 たか子  
 「エレヌ・シクスーの世界」 松本伊瑛子氏  
 「現代フランスの女性思想とイリガライ」 棚沢 直子氏

### 〈会計報告〉

下記の1996年度決算報告および1997年度予算案が総会で承認されました。

#### 1996年度予算

##### (収入)

会員会費	360,000 円
雑収入	20,000 円
前年度繰越金	1,874,261 円
計)	2,254,261 円

##### (支出)

大会費	50,000 円
事務局費	30,000 円
通信費	120,000 円
印刷費	15,000 円
機関誌刊行費	450,000 円
次年度繰越金	1,589,261 円
計)	2,254,261 円

#### 1996年度決算

##### (収入)

会員会費	432,000 円
懇親会費	72,000 円
雑収入	20,725 円
前年度繰越金	1,874,261 円
計)	2,398,986 円

##### (支出)

大会費	45,955 円
懇親会費	92,000 円
事務局費	16,824 円
通信費	129,557 円
印刷費	10,800 円
機関誌刊行費	454,540 円
次年度繰越金	1,649,310 円
計)	2,398,986 円

#### 1997年度予算

##### (収入)

会員会費	400,000 円
懇親会費	60,000 円
雑収入	25,000 円
前年度繰越金	1,649,310 円
計)	2,134,310 円

##### (支出)

大会費	50,000 円
懇親会費	80,000 円
事務局費	30,000 円
通信費	140,000 円
印刷費	15,000 円
機関誌刊行費	500,000 円
次年度繰越金	1,319,310 円
計)	2,134,310 円

**新入会員** 三石博行、望月太郎、中敬夫、J.ブーデルリック、東浩紀、平井靖史、山口裕之、杉村靖彦、杉山直樹、永井晋、米虫正巳、井上たか子、中津川暑子、滝本雅志、村松正隆、吉永和加、谷口薫、松田充代、大崎晴美、岡田篤志、磯忠幸、前原有美子、佐久間崇、井原健一郎、水野剛士、持田季未子、谷口佳津宏、今村純子、棚沢直子

### 『フランス哲学・思想研究』第2号発行

会員には配布いたしました。1部千円で頒布いたします。ご希望の方は編集所にお申し出ください。

### 論文募集

『フランス哲学・思想研究』第3号の論文を募集いたします。応募規定は第2号のp.176をご覧ください。  
 原稿締切り 1998年1月31日 送付先：108 東京都港区白金台1-2-37 明治学院大学文学部 宇波研究室内  
 『フランス哲学・思想研究』編集所

### 1998年春のシンポジウム

来年3月29日(日)午後2時30分より 京都市 京大会館で開催する予定です。

## 1998年度総会および研究大会のお知らせ

今年度の総会および研究大会が、下記のように開催されることになりましたので、ご案内申し上げます。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

(1) 日 時 9月12日(土) 総 会 13時-13時30分〔議題:会費値上げ、その他〕  
研究大会 13時40分-16時30分  
懇親茶話会 17時-18時

(2) 場 所 東京日仏会館 501会議室(5階)  
渋谷区恵比寿3-9-25 (JR恵比寿駅下車、徒歩8分  
恵比寿ガーデンプレイスわき)

(3) 研究大会 テーマ「ポール・リクルの物語理論とその展開」  
司会者 清水 誠氏  
報告者「物語と自己の探究 — 物語的自己同一性をめぐって —」 杉村靖彦氏  
「リクル物語理論の射程 — 神話・イデオロギー・物語」 堀江宗正氏  
「歴史叙述と物語」 久米 博氏

(4) 懇親茶話会 日仏会館2階 レストラン レスパス にて 会費二千元(当日受付)

## 理事改選について

本年は理事改選の年に当たりますので、会員名簿を参照されて、7月20日(当日消印有効)までに投票をお願いいたします。会費(二千元)を同封の振替用紙で納入ください。研究大会に出欠の返事を8月20日までにお出しください。

フランス年記念 日仏会館諸学会総合シンポジウム 「日本にとってフランスとは」予告  
本年12月18-20日の三日間、上記のシンポジウムが日仏会館で行われる予定で、準備が進められています。18日(金)11時からの基調講演は中村雄二郎会長がなされます。同日午後には哲学、文学、歴史、演劇、音楽の五学会によるシンポジウム「現代日本におけるフランス像」が行われ、本学会から小林道夫氏の「日本におけるフランス哲学研究—過去、現在、未来—デカルト研究を中心に」と題する発表がなされます。どなたでも参加できます。是非ご出席ください。

## 『フランス哲学・思想研究』第3号発行

機関誌『フランス哲学・思想研究』第3号が9月に刊行され、総会当日に配布できる予定です。引き続き第4号の原稿を募集いたします。応募要領は雑誌の末尾に記載されています。研究室、図書館にもお備えください。頒価千円です。

## 第27回フランス語哲学会連合国際学会

前号でお知らせした上記学会がカナダ、ケベック市のUniversité Lavalで、La Métaphysique を主題に8月18-22日に開催されます。連絡先は下記のとおり。

Faculté de Philosophie, Université Laval

Tél 418-656-2244 Fax 418-656-7267 E Mail asplf@fp.ual.ca

## 1998年度総会および研究大会の報告

今年度の総会および研究大会は、去る9月12日東京日仏会館で開催されました。終了後レストラン「レスパス」で懇親茶話会がおこなわれました。

〈総会〉年会費を1999年度より3,000円値上げする案が可決されました。理由は、機関誌の刊行費を繰越金で賄ってきたのが、限界に達したためです。

〈研究大会〉テーマ「ポール・リクールの物語理論とその展開」

司会者 清水 誠氏

報告者 「歴史叙述と物語」

「物語と自己の探究 — 物語的自己同一性をめぐって」

「リクール物語理論の射程 — 神話・イデオロギー・物語」

久米 博氏

杉村靖彦氏

堀江宗正氏

〈会計報告〉

下記の1997年度決算報告および1998年度予算案が総会で承認されました。

1997年度予算

1997年度決算

1998年度予算

〔収入〕

〔収入〕

〔収入〕

会員会費	400,000円
懇親会費	60,000円
雑収入	25,000円
前年度繰越金	1,649,310円
計)	2,134,310円

会員会費	446,000円
懇親会費	40,000円
雑収入	163,250円
前年度繰越金	1,649,310円
計)	2,298,560円

会員会費	450,000円
懇親会費	40,000円
雑収入	50,000円
前年度繰越金	1,243,928円
計)	1,783,928円

〔支出〕

〔支出〕

〔支出〕

大会費	50,000円
懇親会費	80,000円
事務局費	30,000円
通信費	140,000円
印刷費	15,000円
機関誌刊行費	500,000円
次年度繰越金	1,319,310円
計)	2,134,310円

大会費	33,459円
懇親会費	63,000円
事務局費	235,189円
通信費	162,558円
印刷費	12,472円
機関誌刊行費	547,954円
次年度繰越金	1,243,928円
計)	2,298,560円

大会費	50,000円
懇親会費	60,000円
事務局費	30,000円
通信費	170,000円
印刷費	15,000円
機関誌刊行費	500,000円
次年度繰越金	958,928円
計)	1,783,928円

注) 決算で 雑収入のうち 雑誌売上代 63,250円、出版著作権協議会より10,000円  
事務局費のうち 会員名簿製作費 215,130円 機関誌印刷製本費 400,000円

**新理事会** 今年7月の選挙で次の方々が理事に選出されました。

我孫子信、宇波彰、久米博(事務局長)、小林道夫、小林康夫、坂部恵(副会長)、佐々木健一、塩川徹也、清水誠(副会長)、高橋哲哉、田島節夫、谷川多佳子、中田光雄(編集長)、中村雄二郎(会長)、西谷修、松永澄夫、村上勝三、山形頼洋、山田弘明、湯浅博雄

### 論文募集

『フランス哲学・思想研究』第4号の論文を募集します。応募規定は第3号のp.193をご覧ください。  
原稿締切1999年1月31日 送付先 305-8577 つくば市天王台1-1-1 筑波大学人文社会学系棟710 中田研究室

日仏諸学会総合シンポジウム 「日本にとってフランスとは」 於 日仏会館

12月18日(金) 11時 基調講演「日仏対蹠文化論」 中村雄二郎会長

13時30分「日本におけるフランス哲学研究 — 過去、現在、未来

デカルト研究を中心に」 小林道夫氏

是非ご出席ください。

### 新入会員

黒田昭信、清水光恵 渡辺芳敬、関根小織、永野潤、加藤憲治、小林裕之、照屋裕美子、山下雅之、増田直子、清水高志、斉藤範、堀江宗正、柴田健志、星野善彦、清水洋貴

L'ANNÉE DE LA FRANCE AU JAPON  
日本におけるフランス年

## 日仏諸学会総合シンポジウム

# 日本にとってフランスとは

*Que représente la France pour le Japon?*

会 期：'98年12月18日(金)・19日(土)・20日(日)

会 場：日仏会館ホール・入場無料

主 催：日仏会館

日仏哲学会，日仏歴史学会，日本フランス語フランス文学  
会，日仏演劇協会，日仏音楽協会，日仏政治学会，日仏美術  
学会，日仏図書館情報学会，日仏女性研究学会，日仏教育学  
会，日仏地理学会，日仏経営学会，日仏医学会，日仏薬学  
会，日仏農学会，日仏工業技術会，日仏生物学会，日仏海洋  
学会，日仏理工科会，日仏獣医学会，日仏法学会



第1日 12月18日(金曜日)

- 10:00 開会挨拶 : 駐日フランス大使  
: 日仏会館理事長
- 11:00 基調講演 : 中村 雄二郎(日仏哲学会会長)

日仏対蹠文化論

- 12:00 昼休み

シンポジウム

テーマ: 現代日本におけるフランス文化像

Image de la culture française vue par le Japon d'aujourd'hui

第1セッション 司会: 竹内信夫+小林茂

- 13:30 - 14:00 : 小林道夫(日仏哲学会)

日本におけるフランス哲学研究—過去, 現在, 未来—

—デカルト研究を中心に—

- 14:00 - 14:30 : 福井憲彦(日仏歴史学会)

戦後日本の歴史研究からみたフランス像

- 14:30 - 14:45 討議

- 14:45 - 15:15 : 野崎歓(日本フランス語フランス文学会)

日本における現代フランス文学

- 15:15 - 15:45 : 渡辺守章(日仏演劇協会)

大いなる欠落—日本におけるフランス演劇の受容

- 15:45 - 16:00 討議とまとめ

- 16:00 - 16:30 コーヒーブレイク

第2セッション 司会: 三善 晃

- 16:30 - 17:45 : 藤井一興+野平一郎(日仏音楽協会)

現代の音楽芸術における, フランスと日本の相互干渉

[音楽演奏を含む]

- 18:00 - 懇親パーティー

第2日 12月19日(土曜日)

シンポジウム

テーマ：日仏社会の比較と反省

Sociétés française et japonaise : comparaison et réflexion

第1セッション 司会：田辺 裕＋渡辺啓貴＋坂本 満

10:20 - 11:00 : François SIMARD (モナコ海洋研究所)

海, 魚, 漁業—日仏比較の試み (日本語)

11:00 - 11:30 : 野中尚人 (日仏政治学会)

地方分権と政治—行政関係

11:30 - 12:00 : 西野嘉章 (日仏美術学会)

マルロー, シヤステル, ラングー—フランス文化財戦略の三十年

12:00 昼休み

第2セッション 司会：安積暁美＋中島公子

14:00 - 14:30 : 鈴木良雄 (日仏図書館情報学会)

変容する図書館

14:30 - 15:00 : 林 瑞枝 (日仏女性研究学会)

5月革命後のフランスの家族像の変貌

15:00 - 15:30 コーヒーブレイク

第3セッション 司会：服部英二＋小堀 巖＋佐藤 清

15:30 - 16:00 : 石堂常世 (日仏教育学会)

今日のフランスの教育的挑戦と日本の教育

16:00 - 16:30 : 田辺 裕 (日仏地理学会)

フランスでは日本をどう教えるか—中等地理教育の現状比較

16:30 - 17:00 : 日高定昭 (日仏経営学会)

フランスにおける経営高等教育—大学とグランゼコール

第3日 12月20日（日曜日）

シンポジウム

テーマ：フランス科学と日本

Sciences françaises et le Japon

10:00 閉会の辞 : 中村廣明

特別講演 司会：飯山敏道

10:05 - 11:00 : Xavier LE PICHON (コレージュ・ド・フランス教授)

科学はどこまで人間についての観方を変えたか (通訳付)

第1セッション 司会：土屋雅春+辰野高司

11:00 - 11:30 : 大村敏郎 (日仏医学会)

医学, 最も長い日仏交流の歴史を持つもの

11:30 - 12:00 : 辰野美紀 (日仏薬学会)

臨床薬学の誕生—近代薬学概念の形成史

12:00 昼休み

第2セッション 司会：船久保熙康+有賀祐勝+飯山敏道

13:30 - 14:00 : 本多健一 (日仏工業技術会)

写真科学—日仏のかけはし

14:00 - 14:30 : 八木宏樹 (日仏海洋学会)

フランスと日本における水産増養殖の比較

14:30 - 15:00 : 関口 焔 (日仏理工科会)

高分子化学の現状と今後の日仏協力

15:00 - 15:30 コーヒーブレイク

第3セッション 司会：水野丈夫+長谷川篤彦

15:30 - 16:00 : 藤原公策 (日仏生物学会, 日仏農学会, 日仏獣医学会)

生物学における日仏の絆

16:00 - 16:30 : 原田 宏 (日仏農学会)

植物バイオテクノロジーのいしづえ—ゴートレ教授を偲ぶ

16:30 閉会の辞 : 小林善彦 (日仏会館)

閉会后 ワイン・パーティー

## 1999年春のシンポジウムのお知らせ

日仏哲学会の春のシンポジウムを下記のように開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。今年  
は中村雄二郎氏の著作をとりあげ、会員外から提題者をお招きして開催いたします。

テーマ 「中村雄二郎の哲学 — 『述語語的世界と制度』を中心に」

司会者 坂部 恵氏

提題者 「中村哲学と述語的世界」 野家啓一氏（東北大学教授）

「戦後思想のなかの中村哲学」 西島健男氏（評論家）

" Corps, lieu, monde. Réflexion d'un géographe sur la logique du prédicat".

M. Augustin Berque, Directeur du Centre de recherches sur le Japon contemporain.

（宮城大学客員教授）

日 時 4月24日（土）午後2時—4時30分

場 所 東京 日仏会館 501 会議室

JR山手線恵比寿駅下車 ガーデンプレイスわき

## 第28回フランス語哲学会連合国際学会の予告

本学会が加入しているAssociation des Sociétés de Philosophie de Langue Française.の第28回国際学会  
は下記のように開催される予定です。加入したばかりのL'Association italienne de philosophie de langue  
française.が、数年前創立900周年を祝ったボローニャ大学での開催を申し出て、総会で決定されました。  
学会の細目が決まり次第お知らせいたします。

Thème: La Philosophie et la Paix.

Dates du Congrès: 29 août—2 septembre 2000.

Lieu du Congrès: L'Université de Bologne.

## 新入会員

村上太吾、中村俊直、石原孝二、高橋透、鈴木暁、川端晶子、木島泰三、長谷川悦宏。

日仏哲学会の会員は三月現在で276名です。住所変更の際は必ず事務局長までお知らせください。  
入会の申込みも下記の事務局長宛にお願いいたします。

〒167-0021 東京都杉並区井草1-42-9 久米博

## 1999年度総会および研究大会のお知らせ

今年度の総会および研究大会が、下記のように開催されることになりましたので、ご案内申し上げます。  
多数の皆様のご参加をお願いいたします。

- (1) 日 時 9月11日(土) 総 会 13時-13時30分  
研究大会 13時40分-16時30分  
懇親茶話会 17時-18時
- (2) 場 所 東京日仏会館 501会議室(5階)  
渋谷区恵比寿3-9-25 (JR恵比寿駅下車、徒歩8分  
恵比寿ガーデンプレイスわき)
- (3) 研究大会 テーマ「フランス19世紀のスピリチュアリテ —19世紀前半を中心にして」  
司会者 松永澄夫氏  
報告者「スピリチュアリテとは何か — 19世紀初頭における<哲学>と政治」村松正隆氏  
「オーギュスト・コントと生物学 —魂のあり処をめぐる」我孫子信氏  
「ロマン主義歴史学の論理とレトリック」小倉孝誠氏
- (4) 懇親茶話会 日仏会館2階 レストラン レスパス にて 会費二千元(当日受付)

研究大会に出欠の返事を8月20日までにお出しく下さい。  
会費を納入してください。99年度より会費は3000円です。  
住所その他変更の際は、必ず事務局までお知らせください。

## 『フランス哲学・思想研究』第4号発行

機関誌『フランス哲学・思想研究』第4号が9月に刊行され、総会当日に配布できる予定です。引き続き第4号の原稿を募集いたします。応募要領は雑誌の末尾に記載されています。研究室、図書館にもお備えください。頒価千円です。

新入会員 浜田正、高畑昭久、平野和彦、直江道愛

## 第28回フランス語哲学会連合国際学会

二年毎に開催されるAssociation des Sociétés de Philosophie de Langue Française.の第28回国際学会が下記のように来年イタリアのボローニャ大学で行われます。詳細は当事務局にお問い合わせください。

Thème: La philosophie et la Paix. Dates du Congrès: 29 août-2 septembre 2000.

Section I: La paix dans l'histoire de la philosophie.

II: La problématique de la paix.

III: La paix, les cultures, les religions.

Secrétariat d'organisation: XXVIIIe Congrès de l'ASPLF / B.P.a.s.n.c. / Piazza F.D.Roosevelt, 4  
40121 Bologna Italie

Envoyer le formulaire d'inscription à: I&C s.r.l. / Via Andrea Costa 2 / 40134 Bologna Italie  
c/o P.P.a.s.n.c. tel: 39-051-6144004 fax: 39-051-6142772 E-mail: iec@posta.alinet.it

## 1999年度総会および研究大会の報告

今年度の総会および研究大会は、去る9月11日東京日仏会館で開催されました。終了後レストラン「レスパス」で懇親茶話会がおこなわれました。

〈研究大会〉 テーマ「フランス19世紀のスピリチュアリテ —— 19世紀前半を中心にして」

司会者 松永澄夫氏

報告者 「スピリチュアリテとは何か —— 19世紀初頭における〈哲学〉と政治」 村松正隆氏  
 「オーギュスト・コントと生物学 —— 魂のあり処をめぐって」 安孫子信氏  
 「ロマン主義歴史学の論理とレトリック」 小倉孝誠氏

〈会計報告〉

下記の1997年度決算報告および1998年度予算案が総会で承認されました。

1998年度予算		1998年度決算		1999年度予算	
〔収入〕		〔収入〕		〔収入〕	
会員会費	450,000円	会員会費	516,000円	会員会費	600,000円
懇親会費	40,000円	懇親会費	36,000円	懇親会費	40,000円
雑収入	50,000円	雑収入	143,960円	雑収入	50,000円
前年度繰越金	1,243,928円	前年度繰越金	1,243,928円	前年度繰越金	1,176,271円
計)	1,783,928円	計)	1,939,888円	計)	1,866,271円
〔支出〕		〔支出〕		〔支出〕	
大会費	50,000円	大会費	47,298円	大会費	50,000円
懇親会費	60,000円	懇親会費	50,000円	懇親会費	50,000円
事務局費	30,000円	事務局費	7,400円	事務局費	30,000円
通信費	170,000円	通信費	123,783円	通信費	150,000円
印刷費	15,000円	印刷費	11,915円	印刷費	15,000円
機関誌刊行費	500,000円	機関誌刊行費	523,221円	機関誌刊行費	500,000円
次年度繰越金	958,928円	次年度繰越金	1,176,271円	次年度繰越金	1,071,271円
計)	1,783,926円	計)	1,939,888円	計)	1,866,271円

注1)1998年度決算で雑収入の内訳 定額貯金利息 48,900円、出版者著作権協議会 65,000円  
 雑誌売上代 30,060円

注2)1998年度決算で繰越金内訳 定額貯金 700,000円、振替貯金 467,793円 手元現金 8,478円

注3)機関誌は学術刊行物として認可されましたので、今後郵送費は安くなります。

注4)1998年度単年度では、67,960円の赤字でした。

現在、会員数は280名です。会費を完納していただければ赤字は解消されますので、よろしくおねがいいたします。

『フランス哲学・思想研究』 第4号発行

もし印刷不良箇所や乱丁などがありましたら取り替えますので、編集部までお申し出ください。

編集委員に清水誠氏の名が落ちておりました。お詫びとともに訂正いたします。

### 論文募集

『フランス哲学・思想研究』第5号の論文を募集いたします。応募規定は第4号のp.203をご覧ください。  
 原稿締切2000年1月31日 送付先 305-8577 つくば市天王台1-1-1 筑波大学人文社会学系棟A710中田研究室

### 新入会員

加藤洋介、中 真生、高橋 靖、小林照顕、倉田 剛。

## 2000年春のシンポジウムのお知らせ

日仏哲学会の春のシンポジウムを下記のように開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。今年  
は前回に引き続きフランス・スピリチュアリズムをとりあげます。

テーマ 「フランス・スピリチュアリズムII」

司会者 中田光雄氏

提題者 「ベルクソンと古代のスピリチュアリズム」

内藤純郎氏

「自発性を飼い馴らす ―スピリチュアリズムへの一視角」

杉山直樹氏

「内在の存在論への途 ―ベルクソンとドゥルーズ」

檜垣立哉氏

日 時 4月1日(土) 午後2時-4時30分

場 所 東京 日仏会館 501 会議室

JR山手線恵比寿駅下車 ガーデンプレイスわき

## 新入会員

渡辺秀樹、中川久嗣、根田隆平

\*住所その他の変更の際は必ず事務局までお知らせください。日仏会館には係の者は常駐しておりませんので、連絡は下記をお願いします。

167-0021東京都杉並区井草1-42-9 久米 博

tel 03-3399-3372 fax 03-3394-8504

## &lt;学会情報&gt;

日仏会館シンポジウム

「科学の進歩と人間の未来」

日 時 2000年3月11日(土) 10時-16時30分

会 場 日仏会館ホール (入場無料)

講 演 (1) 「これからの医学に想う」 森 亘氏 (日本医学会会長)

(2) 「生命科学の進歩と人間の生存を考える」 青木清氏 (上智大学生命科学研究所所長)

(3) 「植物バイオテクノロジーは21世紀の地球生命圏の危機を救えるか」

駒嶺 稼 氏 (日本植物学会会長)

## 第28回フランス語哲学会連合国際学会

Le XXVIIIe Congrès de l'Association des Sociétés de Philosophie de Langue Française.

Dates du Congrès: 29 août-2 septembre 2000.

Lieu du Congrès: Université de Bologne.

Thème: La Philosophie et la Paix. Section I: La paix dans l'histoire de la philosophie.

II: La problématique de la paix.

III: La paix, les cultures, les religions.

Envoyer le formulaire d'inscription à: I&C s.r.l./Via Andrea Costa 2/40134 Bologna Italie

c/o P.P.a.s.n.c. tel: 39-051-6144004 fax: 39-051-6142772 E-mail: iec@posta.alinet.it